

# 磐城民衆の聲

民衆 仲介 榮商事 營業種目

- 一、金貨債借の仲介
- 一、貸金、家賃、地代の取立
- 一、土地、建物、物品の賣買仲介
- 一、債權、公債、社債、株式の賣買仲介
- 一、電話買賣 交換の仲介

- 一、商品の託販賣
- 一、銀行、會社、家政の整理
- 一、動産、不動産、地價評定
- 一、争議の和解、示談仲介
- 一、上記の仲介並に代理

上記の外諸般の 仲介業代理業一切

發行日 一、十二、三十一日(毎月三回)  
 編輯兼發行印刷人 北川 秀雄  
 發行所 福島縣平町南町七十八番地  
 印刷所 平町白銀町十 丸山印刷所  
 廣告料 五號十二字詰一回五十錢  
 一部十錢 六ヶ月二十錢 送料五厘

## 政治は人情なり

吉 田 五 平

人類相寄りて社會を成し國である、然るに近時の政界家を即ち社會は人類の集を瞥見するに政黨は各自黨結合であり國家は國民の集の利害を本位とし徒らに其結合である故に其構成分子の聲のみが國家國民の上にあつたる人類は互に其結合を有つて其實質に於ては何れも機械的に求めねばならぬ若し自黨擴張に汲々たるものあり此の人類が有様に結合しり更に政治家と稱するもの得ず各自が其生存上に於ける中では恰かも身を挺して各種の欲望を個性に求め國家國民の爲め或は地方郷土の爲め献身的政治活動を所謂個人主義に偏寄して、相譲らざるに於てはこれ恰取てするが如くなるも其裏か下層動物に異ることな面の心情と行動とを窺知すく一塊の肉を争ふ狐狼の徒の時吾人は轉た其心情を如何等擇ふ處がないのであ惜み其行動を排撃せざるを得ないものがあることを最茲に於て此の社會組織の根も遺憾とするものである源たる人類生存上の秩序維而も斯の種惡徳政治家は國持と國民生活上の保障を期國家國民を踏臺とし寧ろ之れせんが爲め初めて政治が行を一種の好餌となし公然自はれ法律が生れたのである已欲望の達成に努力邁進し故に此の秩序維持の運用機つあるのであつて是等は關として茲に政治家があり獨り中央の政界に於てのみ政黨が認められて居るのでならず地方に於ける大少幾ある、果して然らば此の政多の自稱政治家に於て更に黨及政治家は一進一退悉く其の甚だしきを見るの秋に其の基礎を人類生存上の大於て吾人は一刻も早く是等局に置き常に人類愛に立脚毒虫的背徳者流を排撃し其して終始し苟くも自己の欲の存在を剷滅せんことを要求をのみ満たさんとする野望するものである。望を挿むべきを許さないの此の時當り予は斯る弊凡

を打開し其に國民生活の安定を期し全大衆の安寧幸福を期せんが爲社會組織の根底を基礎としたる所謂有機的結合に依つて成れる人情的政治の實現を理想とし茲に政治をして心理的・道徳的に展開せしめんことを望む故に從來の政治は生活なりとか政治は力なりとかを脱し更に政治は人情なりと提唱したのである。

果して政治が人情なりとすれば其運用機關たる政黨も又政治家も共に人情的でなければならぬ、人情を離れたる政黨——政治家は其政黨とし政治家としての資格を具備せざる片身的怪物なりと論断したのである以上論ずる處に依り予は茲に眞に吾が嶽土を愛し否に國家を憂ふるの念に燃ゆる全郷土の諸氏に對し此の人類愛に立脚し飽くまで強く正しく明るき政治に生きんとする政黨並に政治家を依頼し益々社會人類上の安寧幸福を満喫せられんことを渴望してやまざるものであ

# 祝 發 刊

秋山材木店 秋山市造植田町	合資 大平組 植田町五番電話五四番	縣會議員 鷺清昇	福島縣町村石城支會 長會村石城支會	鈴木重藏 平町一丁目	増尾木工所 増尾甚市郎 平町仲四番電話一四四番	建築請負業 野口米作 平町鎌田八番電話六一八番
四倉町 漁業組合長 長谷川長八	町會議員 菅波康太郎 四倉町	町會議員 佐藤熊藏 四倉町	檜村義衛 平町城山	味岡子之松 平町田町	成瀬巴之 植田町	小宅嘉一 植田町
吉田長重 錦村大倉	酒造業 吉田勝馬 植田町仁井田	磐城中學校 山崎宣吉 山崎光雄 大山橋秀冬				



### 石城郡開發の爲めに 自動車網を完成せよ

公正なる政治を骨張し  
利権盲者の一掃を期せ

湯本 H 生

二人にしか許可しないから  
汽車や電車が國家交通の神  
經系統であつた時代は今や  
去らんとしてゐる。今後の  
交通界の王者は自動車だ、  
殊に我が石城郡の開発には  
自動車網の完成は最も必要  
なる一事である。

小名濱商港の實現も既に時  
間の問題となつて我が石城  
郡は、イヤでも東北文化の  
輸出入口たらんとする運命  
にある。その石城郡の盛衰  
はやがて東北の開発にも影  
響するといふも決して過言  
ではない。

然るに本部の自動車路線を  
見ると、閑寂な路線には車  
がウヨウヨあるのに、有利  
な路線、殊に平町より海岸  
に至る重要な路線の如き  
は、某々縣議の獨占事業の  
觀あり、地方民の不便はも  
とより交通の發達を阻害す  
ること夥しいのはどうした  
譯であるか。

の最大要件である。

四倉より平町に至り、平町吾等は東北の開発の爲に、  
より湯本に至る道路の如き東北の咽喉である石城郡の  
は、交通頻繁なる點に於て開發を主張する石城郡の開  
は縣下第一と聞いてゐる。發の爲に自動車網の完成を  
この路線を舗装道路とする主張する。願はくは公正な  
ことも縣下に於ては第一着る政治の方によつて、この  
手としてやつて貰ひたい。目的を達成する爲に郡民の利  
川前溪谷の美も勿來古蹟の蹶起を促したい。郡民の利  
勝も磐城舞子の景もこれを益は機會均等たらしむる爲  
天下に紹介するものは、まに郡民の覺醒を要望するも  
つ第一に完全なる自動車道のである。

### 若松縣參の慰勞を兼て 石城民政部會新年の宴 平町丸昌ホールに於て 比佐代議士も出席

比佐代議士も出席  
平町丸昌ホールに於て  
石城養蠶獎勵會で  
蠶業講習和會開催  
講師 木田藤次郎氏  
平町舊城跡石城養蠶獎勵會  
では過般石川郡各町村農會  
より經濟育蠶法講和方申請  
により蠶業技術師蠶業技手木  
田藤次郎氏出張講話行脚を  
爲し頗る聴講者に感激を興  
へ盛會を極めたが今回は來  
る一月二十五日より四月中  
旬迄双葉、相馬の二郡下各  
町村に於て木田藤次郎氏其  
他數氏講師となつて農村  
の實際振興化を提唱して共同  
雅蠶飼育の獎勵桑園仕立法  
新案乾布箱飼經濟育其の他  
等々に就て講話會を開催す  
る筈にて頗る當業者から歡  
迎されてゐる

### インプレッション

筆者はこの新聞界に入ると共に勢ひ多數先  
輩と交渉を持つ様になつた、その人格の奥  
までは到底許されぬが所謂第一印象をボツ  
ボツ書いて見様と思ふが單にインプレッショ  
ンなるが故に事實と相違する點は何卒御海  
容あらんことを先づ以て御断りしてお

### 代議士 比佐昌平氏

心なしか蒼白き顔色が先生  
の健康を心配させるが話し  
て居る中に何時かそうした  
事も消えてしまふ事ほど先  
生から受ける印象は熱と誠  
そのものである。

### 若松美三氏

今や五十九歳會も正に火蓋  
を切られんとしてゐる、後  
願の憂なく御健闘をお祈り  
して結ぶことにする。

### 鷺清昇氏

處は植田町役場副長室卓を  
はさんで座するは縣會議員  
鷺清昇氏とかいふ筆者、  
火鉢の鐵瓶は最前よりしき  
りに煮ざり太陽が硝子一ぱ  
いさし込んでゐる静かな午  
後である御茶を手づから汲  
みながら鷺氏はボツリ、  
話される植田町を中心とし  
た各村政黨の今昔談、さて  
は民政黨が同志會、憲政會  
を経て今日に至つた道程、  
政黨の將來轉じては比佐代  
議士初め黨有力者のこと等

吾々若年者に取つては殊に  
興味深い有益なる話を次か  
ら次と汲めども、盡き様  
としない、一緒に中食を取  
り長居してはと辞去したが  
温厚、長者といふ印象が  
今でもはつきりとしてゐる  
全く誰彼れの差別なく是は  
是として受容れる圓滿なる  
鷺氏の人格が「植田町地方  
の鷺」を造り民政黨の植田  
町地方を造り得たものとし  
み、敬服した。

祝 發 刊  
藤 寅  
目丁一町平  
番一四一話電

お壽しご  
江戸前御料理  
杵 壽 じ  
電話六七九番

新築落成  
マルトモ  
柴田書店  
平町四丁目  
電話二三四番

松竹日活  
高級  
常設  
平 館  
松田卯太郎  
電話四六六番

# 祝 發 刊

罐醬味酒  
詰油噌類

## 谷口商店

平町新川町  
電話四六七番

西洋御料理  
季節鍋類

## カフエー 松ヶ岡

松ヶ岡公園口

## 洋服店

花井喜重  
平町一丁目  
川岸通り

看板  
作製  
塗キ

## 華泉堂

武花飲一  
平町一丁目川岸通り

RESTAURANT

## サロ

平町田町  
電話253番

## 丹野齒科醫院

日本大學  
齒科醫學士  
平町白銀町(加藤營業所隣)

## 神谷齒科醫院

神谷辰夫  
平町古鍛冶町

## 華香亭

中華料理  
平町南町  
電話二九二番

## 大高自轉車店

ホープ號  
自轉車  
平町土橋

梵鐘銅像  
金燈籠  
佛具専門

## 鑄造工場

工藤源吉  
平町七丁目

## 河田鐵工場

河田梅吉  
平町白銀町  
電話三二九、七六二番

## 合津醫院

咽喉科  
合津重雄  
平町田町  
電話五五九番

## 大角茶舖

銘茶岡  
平町才樋小路

## 仙臺屋

海陸物産  
乾物商  
平町長橋町  
電話五四八番

## 常盤屋時計店

時鏡計  
貴金屬  
平町一丁目  
電話三三九番

## 鹿島屋

鮮魚  
仕出し  
修理料半額  
親切丁寧迅速  
時計、貴金屬、眼鏡各種  
平町大工町  
電話二九七番

## 秋山時計店

平町有聲座前

## 小鍛冶式用ムシカマド

新案特許第三三二一〇號  
製造本  
平町三丁目

### 偶 感

### 民聲漫談室

小言二題

折節耳に入る極めて小數分とや斯う言ふ者こそ朝に平子の爲にするたは言なれば氏に枕し夕に源家におもやそれに對して一々反ばくする賣淫婦と異ならず世の取る事の大人氣なさは知れどらざる處なり。

此の間石城民政黨俱樂部に一人の法被を着たる人夫体の男が大聲で下鳴り込んだそれは聞けば近所の人達へは比佐代議士より年始状が来たそなたが俺の處へは來

嗚呼遂に縁なき衆生は度し難しか、其の一は民聲黨は不景氣内閣なりといふ、何に不景氣内閣なりといふ、何を以て不景氣内閣なりといふ、即現今の不景氣の依つて以て來たりたる眞因を知らずくまで不變なり、眞理なりしての愚言か、そも、政友會内閣の放蕩政策により起きたる財界の不安定建直し唯一の最上策たる金解禁斷行は溜口内閣にして初めて遂行し得た政策である、必然伴ふ緊縮政策の爲一時物價の下落を來たするも、復したるは、時、心なく吹き荒ぶ世界的財界不況の餘波を蒙り思はざる不景氣に際會したれども、

是れは前者とは反對の話これも一月三四日慶であつた平町二丁目の某氏の處へ突

は世界各國一般の状況にて、斷じて溜口内閣そのもの、招きたる事でない事は識者の並く知る處である、現に確實なる政策遂行の現はれとして機業界等は堅實なる復活の道を進んで居る、減額の僅少を罵言するむきあれど何事ぞ一家一町一縣の財政すら意のまゝに成し得ぬ世、況や一國に於ておや本年度來年度を見ずして

一年生たり、見すばらしき一陣笠に過ぎざらん、心せよ石城郷土の諸君今や石城の比佐は正に日本の比佐に大成しつつあり、目前の單なる感情一少利害の爲め石城百年の大計を過る事勿れ比佐氏の生命續く限り議政壇上に送り後顧の憂なく戦

燃ゆる眞情なり偶感三言を述べて世人に訴ふる所似は、大にしては國家、少にしては石城の天地を憂ふるの微意に他ならず

× ×

一、金銭貸借の仲介  
一、貸金、家賃、地代の取立  
一、土地、建物、物品の賣買仲介  
一、債權、公債、社債、株式の買買仲介  
一、電話買賣・交換の仲介

一、商品の託販賣  
一、銀行、會社、家政の整理  
一、不動産、地價評定  
一、争議の調解、示談仲介  
一、上の仲介並に代理

### 上記の外諸般の

仲介業代理業一切

仲介業代理業一切

營業種目